

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで人数が多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。	
	2 職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建物の構造上段差があり完全なバリアフリー化はできていないが、できる範囲に段差を減らす台やスロープを設置する等対応している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日、掃除や療育道具、床、使用物の消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後も振り返りを行い、次の療育に繋げる対策を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	自己評価アンケートを実施し、業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	本年度から新規起ち上げた教室の為、今期の集計分から公開する。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	外部からの評価を受ける機会は現状ないが、保護者から頂いた評価やご意見は参考にして改善に繋げている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修を行っている。内部に比べると頻度は下がるが、外部研修も受ける機会を見つけ極力参加している。	
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	フェイスシートなどを参照に日々の変化を記録し、児童発達支援計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	発達支援に重点を置き、中でも自立支援・運動・創作・感覚統合・他者への関わりを目的とした個別療育、集団療育を設定している。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	日々の記録を参照しつつ、モニタリング等を経て個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	年間計画を作成し、活動プログラムは複数の職員が担当している。ミーティング時に複数の職員で話し合いながら、児童の特性に配慮したプログラムを作成している。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

主な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題やご希望等も取り入れ、ミーティングにて新しいプログラムなどの立案等を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	各職員で役割分担をしている。支援の内容は毎日朝礼時に指導員全員でミーティングをして打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	利用者の日々の情報はPCで管理し、教室内でのみ閲覧できるようにして全職員で把握に務めている。	
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的なモニタリングを行っている。保護者との面談も実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		今後、相談支援事業所のサービス担当者会議がある時は担当者が参加するようにしていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		今後必要に応じて検討していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	難聴や補聴器利用の児童がいるため関係者の訪問を受け入れている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		主治医や協力医療機関等の医療ケアが必要となる児童の通所はないが、実際にご利用いただく場合は連携していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		今後必要に応じて検討していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	移行支援としてご家族の依頼はなかったが、児相より依頼があって関係者会議に参加する等、情報共有・相互理解に努めている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		今後必要に応じて検討していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	保育所等の児童と直接の交流はないが、利用者のご家族を呼んで一緒に遊んだり運動したりするイベントも定期的に設けている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		今後必要に応じて検討していく。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。また、随時保護者からのご意見ご要望に対応できる体制を保護者へ周知している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	特別には行っていないが、面談や日々の振り返りの中で子どもへの対応の相談・助言を行っている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時にその都度している。支援の内容も詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を面談時に得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者の方からの悩み等に関する相談は指導員や児発管が悩みを聞き出すように声を掛けて助言や支援を行なっている。一人の判断で回答出来ない時はミーティングを行い回答するように心がけている。場合によっては子どもが近くにいない時間帯に電話をし、相談に応じている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会は設けていないが、イベントに合わせて保護者参加型の形式をとり、保護者の交流の場として設定している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応するように心がけている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、必要に応じてお知らせを配布したり、定期的にInstagramアプリを更新している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料は、鍵のかかる書庫で保管し、破棄の際はシュレッダーに掛けている。保護者には個人情報同意書に署名を頂いている。また、教室掲示に使用する写真撮影も都度許可を頂いている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	一人一人の特性や障害に応じて配慮をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類は作成しており、職員には周知している。契約時に左記マニュアル類の有無は保護者に伝え、周知している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	全クラスにおいて、定期的に訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に保護者の方にフェイスシートを記入いただいている。毎日のミーティングにおいて職員間で情報共有をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	フェイスシートにてアレルギーの有無は確認しているが、食物の提供は行っていない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ミーティングで話し合い、その都度記録し、共有し、対策を行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の資料をもとに内部研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	3	0	0	・1人1人について支援してくれているので挑戦してみようという気持ちが増えました。 ・それぞれの先生の専門性、ご経験等は知らない為。	・嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き「できた」「やってみたい」という気持ち自信をもてるように支援して参ります。 ・スタッフの経験等は契約時や体験時にご案内をさせていただいております。教室内にも掲示しておりますので、ご覧いただければと思います。お声がけいただければ、ご案内もいたします。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	1	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	0	0	・行われているように感じる が、もっと詳しく話を聞く時間を いただきたいです。 ・質問するタイミングが分らない。 ・毎回見学できるわけではないので 支援計画の内容が療育に反映されてい るか分からない部分があります。	送迎時の混雑状況により詳しく話が できない場合がございます。要点は、ま めてお伝えするように努めておりま す。より詳しい内容やご質問、ご相談 がある場合はLINEや面談の時間を設 けますので、お声がけください。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	0	親と一緒に参加するイベント が考えられて良い。	年に数回は一緒に参加できるイベント を計画しております。皆様のご協力 のおかげで盛り上がっておりますので 是非ご参加いただけると嬉しいです。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	3	5		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	1	2	4		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	1	0	0	色々アドバイスもいただけるの で助かっています。	今後も寄り添っていける教室を目指 して参ります。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	2	0	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	0	5	4	必要性を感じない。	父母の会は保護者様のお声が高まれば、必要に応じて検討して参ります。保護者様参加のイベントを昨年度は2回開催しております。保護者様同士の交流の場としても設けております。コミュニケーションの場であるとアナウンスし、お誘いもしております。ぜひ、ご参加いただければと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1	0	1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12		1			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	2	1	3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13	0	0	0	事前に避難訓練等の連絡をいただき、実施されて良いと思う。	避難訓練(火災・地震・不審者)は年に3回実施しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	0	0	・療育内容を家で行い楽しそうにしています。 ・嫌がらずに楽しみに通っています。	嬉しいお言葉です。ご期待にそえるように今後も精進して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	11	2	0	0	・欠席時振替の説明を契約時に詳しく説明がほしかった。 ・TAKUMIに通ってからも楽しそうな玩具・活動にも「やってみよう」という意欲が高まったように感じます。	・欠席時の振替については契約時に説明をするようにしておりますが、再度スタッフの方で確認を行い今後伝達が不足しないように努めて参ります。 ・今後も安心して通っていただける教室を目指して参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで人数が多い時は、グループ分けをし、運動量が確保できるように工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は常に3名体制となっている。当事業所は指導員4名がすべて常勤のため、体制は整っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建物の構造上段差があり完全なバリアフリー化はできていないが、できる範囲に段差を減らす台やスロープを設置する等対応している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行い、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	自己評価アンケートを実施し、業務改善につなげていく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	本年度から新規起ち上げた教室の為、今期の集計分から公開する。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	外部からの評価を受ける機会は現状ないが、保護者から頂いた評価やご意見は参考にして改善に繋げている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	内部研修を行っている。内部に比べると頻度は下がるが、外部研修も受ける機会を見つけ極力参加している。	
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	フェイスシートなどを参照に日々の変化を記録し、児童発達支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	アセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	年間計画を作成し、活動プログラムは複数の職員が担当している。ミーティング時に複数の職員で話し合いながら、児童の特性に配慮したプログラムを作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	利用者の課題やご希望等も取り入れ、ミーティングにて新しいプログラムなどの立案等を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	当事業所は、長期休暇時もサービス提供は平日と特段変わりがないため、基本同じ内容、流れで実施している。長期休暇期間にはイベントを実施している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	各職員で役割分担をしている。支援の内容は毎日朝礼時に指導員全員でミーティングをして打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず毎日打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出し、次の支援につなげている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	利用者の日々の情報はPCで管理し、教室内でのみ閲覧できるようにして全職員で把握に務めている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的なモニタリングを行っている。保護者との面談も実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	総則通り行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		今後、相談支援事業所のサービス担当者会議がある時は担当者が参加するようにしていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	学校と連携をとる事案はないが、1人通所の方は来所と帰宅時に保護者の方にLINEアプリにて伝達を行い、連携を図っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		当事業所には、医療スタッフが存在しないことと、医療的ケアの必要なお子様を通所していないが、今後受け入れる場合は、主治医との連絡体制は整えていく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	保護者の方から相談を受けた場合、就学前の情報提供を行っている。情報共有システムを利用している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	保護者の希望を受けた場合、情報提供や移行への相談を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	自治体の放課後等デイサービス事業所協議会に加入している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		今後必要に応じて検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		今後必要に応じて検討していく。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	療育を通して出来たことや課題に関しては送迎時や面談時等に伝い合えるようにしている。		



## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	特別には行っていないが、面談や日々の振り返りの中で子どもへの対応の相談・助言を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時にその都度している。支援の内容も詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者の方からの悩み等に関する相談は指導員や児発管が悩みを聞き出すように声を掛けて助言や支援を行なっている。一人の判断で回答出来ない時はミーティングを行い回答するように心がけている。場合によっては子どもが近くにいない時間帯に電話をし、相談に応じている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会は設けていないが、イベントに合わせて保護者参加型の形式をとり、保護者の交流の場として設定している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応するように心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、必要に応じてお知らせを配布したり、定期的にInstagramアプリを更新している。	
	35	個人情報に十分注意している	個人情報と思われる資料は、鍵のかかる書庫で保管し、破棄の際はシュレッダーに掛けている。保護者には個人情報同意書に署名を頂いている。また、教室内掲示に使用する写真撮影も都度許可を頂いている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	一人一人の特性や障害に応じて配慮をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	・事業所の行事に招待できていないが、利用者のご家族を招待し、一緒にイベント参加していただいている。 ・希望があれば、近隣の方には教室内に見学をしていただいている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	左記マニュアル類は作成しており、職員には周知している。契約時に左記マニュアル類の有無は保護者に伝え、周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	全クラスにおいて、定期的に訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止の資料をもとに内部研修を行なっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 武蔵小杉教室

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	フェイスシートにてアレルギーの有無は確認しているが、食物の提供は行っていない。イベント時にお菓子を配布することがある場合には保護者へ事前に周知し、児童にも保護者監視のもと食べるように指導している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ミーティングで話し合い、その都度記録し、共有し、対策を行っている。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	4	0	0	・教室のスペースは広くてしっかり運動ができると 思います。 ・気持ちもう少しだけ広い スペースがあるとありがたい です。	スペースには限りがありますの で、中でも安全に、また運動 量の確保には努めて参ります。
	2 職員の配置数や専門性は適切である か	21	2	0	0	・適切だと思います。 ・少人数で登所できるので 安心して行かせられます。	法令で定められている配置数で 行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	5	3	0	入口段差、ドアの開閉時に手を挟みそうな箇所がある。	保護できる部分は保護材でカバーし、設置が難しい部分にはスタッフが誘導・目視等配慮しております。段差には台を設置する等対応しておりますが、今後も気になった点は、お伝えください。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	21	2	0	0	ニーズをしっかり把握していただいた上で作成されています。	今後も継続して参ります。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	23	0	0	0	・毎回、様々な活動が行われているようです。 ・取り組みの内容が色々あるので子どもが飽きる ことなく参加できています。	今後も継続して参ります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	8	14	0	・把握している上では 無い。 ・個人的には無くても問題ないかなと思います。	ニーズがあるようでしたら、今後検討して参ります。
保護者への	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	0	0	0	利用開始時に説明がありました。	ご不明点がございましたら都度ご説明いたします。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1	1	0	・フィードバック時の説明時に、できなかった事は伝えていただけると良かった点への話もほしい。 ・利用日に、その日の様子を細かく教えていただいています。 ・毎回色々話ができるのでとても分かりやすいです。	送迎時の混雑状況により詳しく話ができない場合がございます。要点は、まとめてお伝えするように努めておりますが、より詳しい内容や質問、ご相談がある場合はLINEや面談の時間を設けますので、お声がけください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1	1	0	気になることに対してアドバイスがあります。	ご相談いただいた相談等に今後も1つずつ真摯に向き合って参ります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	6	12	0	年に1~2回活動報告会や保護者会があってもいいと思う。	・必要に応じて検討して参ります。 ・保護者様参加のイベントを昨年度は2回開催しております。保護者様同士の交流の場としても設けております。コミュニケーションの場であるとアナウンスし、お誘いもしております。ぜひ、ご参加いただければと思います。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 船橋教室

説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情対応の体制は整っていると思います。</li> <li>・苦情がないためわかりません。</li> <li>・実際に必要を感じた事がないので分からないが対応はされていると思う。</li> </ul>	貴重な意見と受けとめ教室全体で取り上げて最善の提案や改善できるように努めるようにしております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	3	0	0	LINEで連絡がとれるようになっています。	営業時間と保護者様のご都合、支援中のスタッフの対応困難を踏まえてLINEや留守電を使用できるようにしております。必ずスタッフで確認をし連絡をいたします。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	6	1	0		
	14	個人情報に十分注意しているか	22	1	0	0	フィードバック時、他のお子様の様子も耳に入ってきてしまいます。	フィードバック時は一定の距離をとるように努めて参りますが、場所を変える等の配慮をいたしますのでご相談ください。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	0	0	0	緊急時等の対応について、利用開始前に説明がありました。	・ご不明点やご不安なことがありましたら、都度お答えいたしますのでご相談ください。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に避難訓練が行われています。</li> <li>・毎回内容が異なる訓練をやっており子どもも内容をしっかり覚えていきます。</li> </ul>	避難訓練(火災・地震・不審者)は年に3回実施しております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1番楽しみにしている特別な場所になっている。</li> <li>・満足しています。</li> <li>・他の事業所では取り組まないことも多いのですが、こちらでは楽しく、しっかり取り組みができています。</li> </ul>	嬉しいお言葉です。ご期待にそえるように今後も精進して参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	21	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも笑顔で戻ってくるので安心して任せられます。</li> <li>・とても満足しています。子どもができる事が増えていることがとても嬉しく、また気持ちの面でも指導して下さりすぐ成長を感じられています。</li> </ul>	今後も安心して通っていただける教室を目指して参ります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。